

株式会社ヒラサワ

所在地 野木町大字友沼 1340

従業員数 35名

【主な事業内容】

鉄・ステンレス・アルミ等、金属のプレス・精密板金加工

弊社は、1961年に野木町で創業し、家電・冷凍機器・建材・生産装置関連の鉄・非鉄金属部品のプレス・精密板金加工を行い55年になります。2007年には、エコアクション21環境認証を取得しました。

お客様の様々なご要望(試作・単発・小ロット・短納期・低コスト)にお応えできるよう、多様な設備(3DCAD・4mシャーリング・4mベンダー・レーザー切断機・レーザー複合機・溶接機等)を用いて、全社員一丸となって鋭意努力してまいります。



《社員のひとこと》

弊社は、金属加工の分野において、お客様のニーズに応えるべく、日々技術の習得・向上に努めております。今後も、お客様の発展と社会の繁栄に貢献するべく、社員一同努力してまいります。

(生産管理課 眞瀬 規之)

広報連絡委員レポート No.369

わたしのペット考

広報連絡委員

石川 清



過日、車の運転中にラジオから流れてきた話に大きな衝撃を受けました。その内容は、昨年1年間に、日本で保護された犬や猫は約20万頭であり、その内約10万頭近くが殺処分されたとのことでした。

なぜシヨックを受けたかということ、私自身、現在、犬3匹と猫7匹を飼育しているからです。私は犬や猫を30年以上前から飼いつけており、そのほとんどが、路上等で保護したものです。今までに犬2頭、猫7匹の最後を看取ってきました。そういう私にとって、保護された数はもちろん、殺処分された数の多さがシヨックだったのです。

現在、わが家の犬3頭のうち2頭はゴールデンレトリバーで、知人より譲られた雄の兄弟です。もう1頭は、3才くらいの細い体形の赤茶ミックスの雄で、家の前の路上で保護しました。古びた空色の首輪をしており、警察や役場に届けは無く、拾得物として3月程預かるか、自分で保健所へ、と言われましたが、引き取り手がないと一週間位で殺処分だと言われ、家で預かることにしま

した。役場、交番、小学校、スーパー等にビラを貼り出し、また近隣の自治会に回覧を作成し飼い主を探しましたが、全く反応がありませんでした。その後、家で正式に引き取り、名前は今年の6月に保護したということ、「ジューン」から「ジューン太」となりました。

また、猫7匹のうち、雌1匹は獣医さんより引き取り、他の雄1匹、雌5匹は路上等で保護した後、全て避妊・去勢手術を行い、家の中で飼育しています。非常にかわいいです。しかし、なぜ彼らが路上犬、猫になったのでしょうか。大きな理由としては、飼い主の高齢化や鳴き声、避妊・去勢手術費用の高額化等の問題で手放すのではないかと想定されます。

ペットの飼い主は、ペットがその命を終えるまで、飼い主の責任としてしっかりと面倒をみなければなりません。飼えなくなったペットを捨てることは犯罪だと思えます。最後に、「ジューン太」が真の飼い主のもとに帰れる日が来ることを願っています。

